



まえがき

高分子学会では 1987 年から、さまざまな分野で幅広く使われている高分子材料をわかりやすく解説した「高分子新素材 One Point」シリーズ（全 30 巻）を刊行いたしました。さらに 2004 年からは、IT、ナノテク、環境、バイオなど急速に変貌する時代の要請に応えるため「高分子先端材料 One Point」シリーズ（全 10 巻）を刊行してまいりました。一方、ナノテクノロジー・ナノサイエンスの著しい発展は、物質の構造や性質を原子・分子レベルで解明・理解する分析技術の急速な展開をもたらしており、高分子材料の設計、評価や作製、加工においても先端の分析技術が要求されています。高分子学会では、種々の顕微鏡を用いた微小領域の直接観察法や分光分析の高度化など「高分子材料にかかわる分析技術の進展」について、2006 年 1 月から 1 年間にわたり会誌「高分子」に「高分子分析技術」の特集を連載いたしました。

新しい材料は、新しい技術や分析法を要求します。「高分子先端材料 One Point」シリーズで取り上げた高分子材料開発の新潮流は、分析手法の新展開との相乗効果によってさらなる発展が大いに期待されています。高分子学会出版委員会は、会誌「高分子」に連載された「高分子分析技術」特集をもとに、「高分子先端材料 One Point」シリーズの別巻にふさわしい『高分子分析技術最前線』を企画・刊行することにいたしました。本書の内容は、種々の顕微鏡、分光法、回折法、化学分析など、21 世紀初頭にかけて急速に展開した分析技

ii まえがき

術を中心に「高分子分析技術」特集で取り扱った分析法に焦点をあてました。本書で解説する分析法は、高分子分析の全分野を網羅するものではありませんが、今後も幅広く用いられ展開する手法であります。

本書は会誌「高分子」の特集をもとにしてはいますが、各項目の著者には最新の情報なども含めて加筆・修正していただき、簡潔に、平易に、かつ読みやすい形で解説する One Point シリーズとして再編集を行いました。高分子材料の研究・開発現場におけるガイドとしてお役に立つことを期待いたします。

2007年12月

社団法人 高分子学会
「高分子先端材料 One Point」別巻 編集委員会